

ひともしひともしひともしひともしひともし
しひともしひともしひともしひともしひともし
もひともしひともしひともしひともしひともし
ともしひともしひともしひともしひともしひと
びともしひともしひともしひともしひともし
しひともしひともしひともしひともしひともし
もしひともしひともしひともしひともしひと

第391号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086) 420-1311



きよ
こころ清らか



カット：
本多紘子

子供たちの夏休みも佳境に入り、花火大会が楽しみな季節になりました。猛暑の続く厳しい暑さですが、皆様いかがお過ごしですか。

新型コロナの感染流行も三年目を迎え、そろそろ治まるのかと期待していましたが、変異株系のオミクロンBA・2株から感染力の強いBA・5株への置き換わりが進み、第7波の大流行が始まり驚いています。ワクチン接種していても、ある一定の期間が過ぎると免疫抗体が下がるので半年後には次の接種が薦められています。一度感染した人や、3回目の接種をした人でも、感染者と成るので不安ですね。

愚僧ぐそうは7月に入るとお盆参りぼんまいを始めています。6月は梅雨つゆらしい雨が降ふらず、日本全国で記録的な猛暑となり、お盆参りが出来るのかと心配でしたが、7月6日頃から戻り梅雨もどとなつて各地で大雨が降り続き、夜明け前に少し涼しく息を吹き返しています。この『ともしび』

8月号を書いているのは7月22日ですが、線状降水帯が発達しやすい地域では河川の氾濫や土砂崩れに警戒したいものです。

地球温暖化が叫ばれて久しいが、世界気象機関は7月19日、欧米を記録的な熱波が襲い、観測史上初の気温40度超となり、各地で山火事が発生し、広大な被害となっています。ポルトガル・スペイン・フラ

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

ンス、また米国のテキサス州やマサチューセッツ市等々です。日本でも、八月・九月は大猛暑になると予報されているので心配です。

7月8日午前11時半頃、奈良市の近鉄大和西大寺駅前で参院選の街頭演説をしていた自民党の安倍晋三元首相あべしんぞうもとしゅしやう（67）が銃撃じゆうげきされ死亡しました。警察は元海上自衛隊員の山上徹也やまがみつや（41）を現行犯として、その場で逮捕しています。山上容疑者は調べに、「父親が死亡後に、母親が特定の宗教団体に入信し、多額の献金たがくけんきん。破産した後も金を納め続けていたため、団体が許せなかった。しかし団体のトップを狙おうとしたが難しく、安倍氏はその団体と繋がりがあると思つて襲つた」と話しています。阿部元首相の悲報に謹んで哀悼の意を表します。

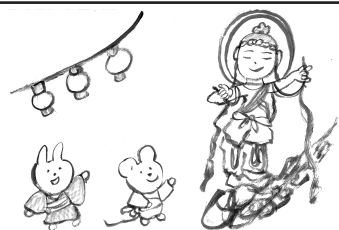
山上容疑者にとつて、「母親の特定宗教団体の入信が多額な献金によつて自分たち兄弟の生活を根本から狂わせてしまった」と思いこんだのは一理ありますが、団体と少し繋がりがあつた元総理を銃撃したのは卑劣な蛮行であり、許されるものではありませんね。

仏教では献金けんきんという言葉より「寄付きふ」とか「御布施おふせ」という言葉を使います。「寄付」とは金品を寺社などに施し与えることと『優婆塞うばそく戒經かいきょう』にあります。「布施ふせ」とはインドでは「ダーナ」と言い、広く施すという意味でした。それを中国人が「檀那だんな」と漢字を当てはめたので、広く施しをする立派な方を「檀那様だんなさま」と呼んだのです。

「布施」には①財物を施す財施、②仏の教えを施す法施、③人生の種々の不安・恐怖を取り除く無畏施の三つがあると『維摩經義疏』にあります。布施の行は菩薩の衆生救済行として大切なものですが、施す人の心と、施される人の心と、施すものの三つが清らかでなければ布施行は成立しないといわれています。

人生には生きる苦しみや、老いる苦しみ、病の苦しみ、死んでいか
なければならぬ苦しみしょうろうびょうしの生老病死があります。誰でも不安や恐怖に
苛さいまれることがあります。その不安や恐怖にかこつけて多くの献金けんきん
をさせるのは、宗教者として悲しいことですね。合掌がっしょう（奥原 曇龍おくはら どんりゅう）

『生きてれば不安や恐怖あたりまえ
ひとひととが支え合う布施』
どんりゅう



カット：
奥原 綾

ともしび説法

日時・八月二十三日「火曜日」 午前十時から十二時まで。

『歎異抄（たんにしょう）に学ぶ』

場所・倉敷市早高 426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、
お寺についてもっと知りたい方

心光寺 倉敷 検索

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「391号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺までご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦